



# 橋 戸

令和4年5月31日  
学校だより 第3号  
練馬区立橋戸小学校  
校長 青木 俊哉

## “未来予想図”的「新運動会」

校長 青木 俊哉

新運動会、5月28日に予定しています。「学校だより6月号」は5月31日の発行ですから、雨で延期にならない限り、これがお手元に届くときには新運動会は実施済みということになります。しかしながら、この巻頭言の原稿は、毎月、発行の数日前には入稿し印刷の準備に入るスケジュール。今回は休日を挟むこともあり、実施を待つて原稿を入れることは、現実的には間に合いません。ちなみに、パソコンに向かい原稿を打つ“今日”は5月26日です。

そこで、新運動会の様子を“未来予想図のように”伝えようと、校長の日記風に想像し、以下に届けます。

7時には実施可否の判断をする必要があり、普段より1時間ほど早く6時台の出勤。前日の雨の影響は気になるものの、粗方の作業は終了しており、グランドコンディションも良好。今日は晴天、気温上昇が気になり、ついに購入したテントが役に立つ日が…。7時を過ぎ教職員が続々出勤。大きな準備が残らなかったのは幸いだが、皆気持ち之急ぎ、足取り速く学校へ向かうのだろう。体育着に着替え、まずは屋上へ。上から全体の様子を見渡し、写真を数枚。後でホームページに使おう。次に校庭に下り、トラックを軽く走ってみる。30年以上続く習慣だが、さすがに全力ダッシュは辛い年齢になり、軽いランニングに留める。ラインもきれいに残り、水溜りや滑る箇所は見当たらない上々のレーンコンディション。出勤した教職員は、ラインの上書きや前日にやり残した作業に精を出す。あとは、保護者の受付開始を待つばかり…。

3年ぶりの開会式、体育学習発表会の時代にはなかったセレモニーが一部復活。全校が集まったの場は、気持ちが引き締まる。257人という児童数にも助けられたか!? 応援合戦はないものの、代表委員が立派にスローガンを発表!

1・2年『橋戸に駆ける』YOASOBIのヒット曲「夜に駆ける」に乗り、軽快なステップを踏む1・2年生。リズムも速く、かなり難しそうな振付も、短期間で覚えてしまう低学年にびっくり! キラキラのボンボンが輝き、とっても素敵。

3年『ワケ☆キャティ』初めて聞く言葉、ケニアの民族楽器の名称(キャティ)が発祥という独特のリズム。身にまとったカラー法被の黄色が鮮やか。一人一人色を塗った鳴子を手し、かなり難しいステップも、軽やかに踊る。

4年『Flag of the future』三浦大知さんの曲、こちらも速い。ヒップホップ調の動きやアップテンポな曲調を生かしたステップ。手にしたフラッグが好天に映え、踊りはダイナミック! カラフルなバンダナもぴったり似合う。

5・6年『シン・橋戸ソーラン』伝統の橋戸ソーランは南中ソーランがベース。速いテンポ、ロック調にアレンジされたソーラン節に載せ、リズムカルに舞い踊る子供たち。さらに今年は“正調”のソーラン節をプラスし、対比の妙。民舞の力強さ、伝統的な踊りに太鼓の音も加わる。恒例の大漁旗は子供たちの手作り、曲の合間に法被と鉢巻と豆絞りが…!?

短距離走や高学年選手のリレーもあり、あっという間に閉会式、といっても得点や表彰はなし。勝負を競わずとも、感動を呼ぶ見処満載の運動会ができることを証明。充実した一日に感謝し、ご家庭の食卓がこの日の話で賑わうことを願う。

さて実際はどうだったでしょうか? まだ、来年の“未来予想図”を描くのは難しいですが、原点は“ここにあり”。